

馬淵川河川事業の 進捗状況等について

- 台風18号豪雨に伴う馬淵川水系における出水状況
・・・・・・・・ P.1~P.2
- 馬淵川河川事業の進捗状況等について
・・・・・・・・ P.3~P.9

平成25年10月21日
青森県

・台風18号豪雨に伴う馬淵川水系馬淵川における出水状況
青森県防災ヘリしらかみ撮影(H25.9.17 10:30)



南部町苦米地地区



南部町相内地区 (相内輪中堤：浸水なし)



南部町大向地区



南部町大向地区 (床上浸水)

河川整備計画の基本的な考え方<整備計画目標：青森県>

本計画で設定した治水、利水、環境及び維持管理のそれぞれの目標に向け、整備を実施します。

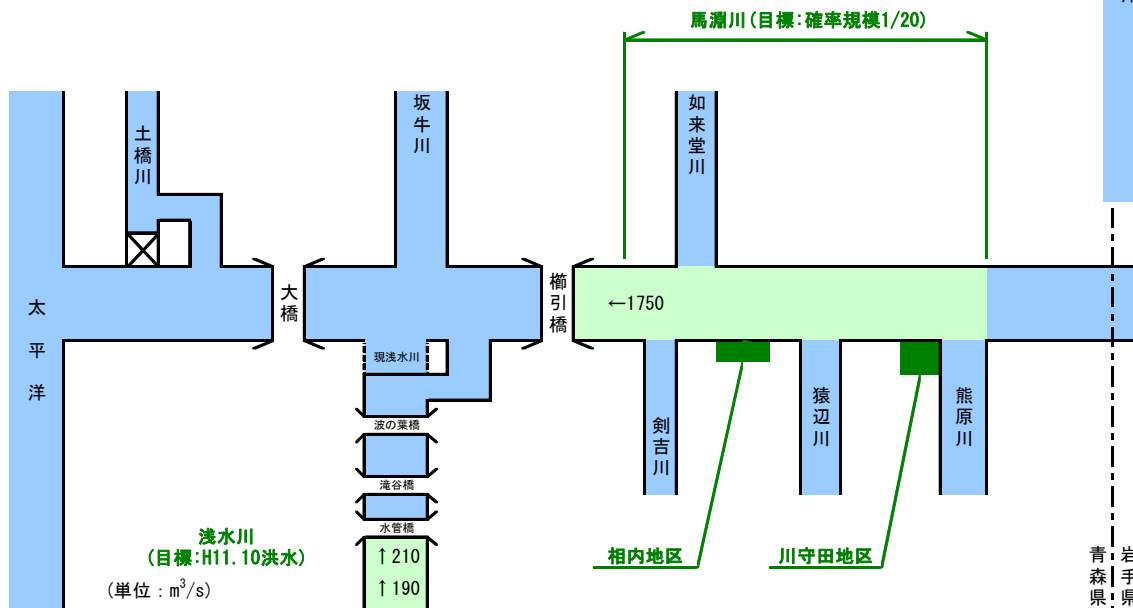
治水

【馬淵川】

『20年に1度発生する洪水(櫛引地点1, 750m³/s)が発生しても、外水のはん濫による宅地の浸水被害を防止する』ことを目標とします。

【浅水川】

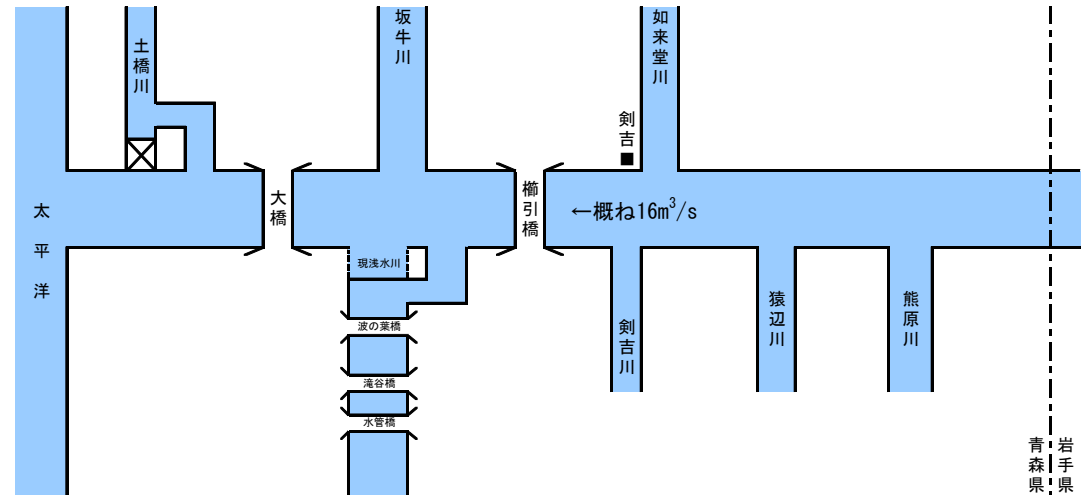
『平成11年10月洪水と同規模の洪水(20年に1度発生する洪水)が発生しても、外水のはん濫による宅地の浸水被害を防止する』ことを目標とします。



利水

【流水の正常な機能の維持】

広域的かつ合理的な水利用の促進を図るなどの対策により、河川整備基本方針で定められた流水の正常な機能を維持するために必要な流量の確保に努めます。



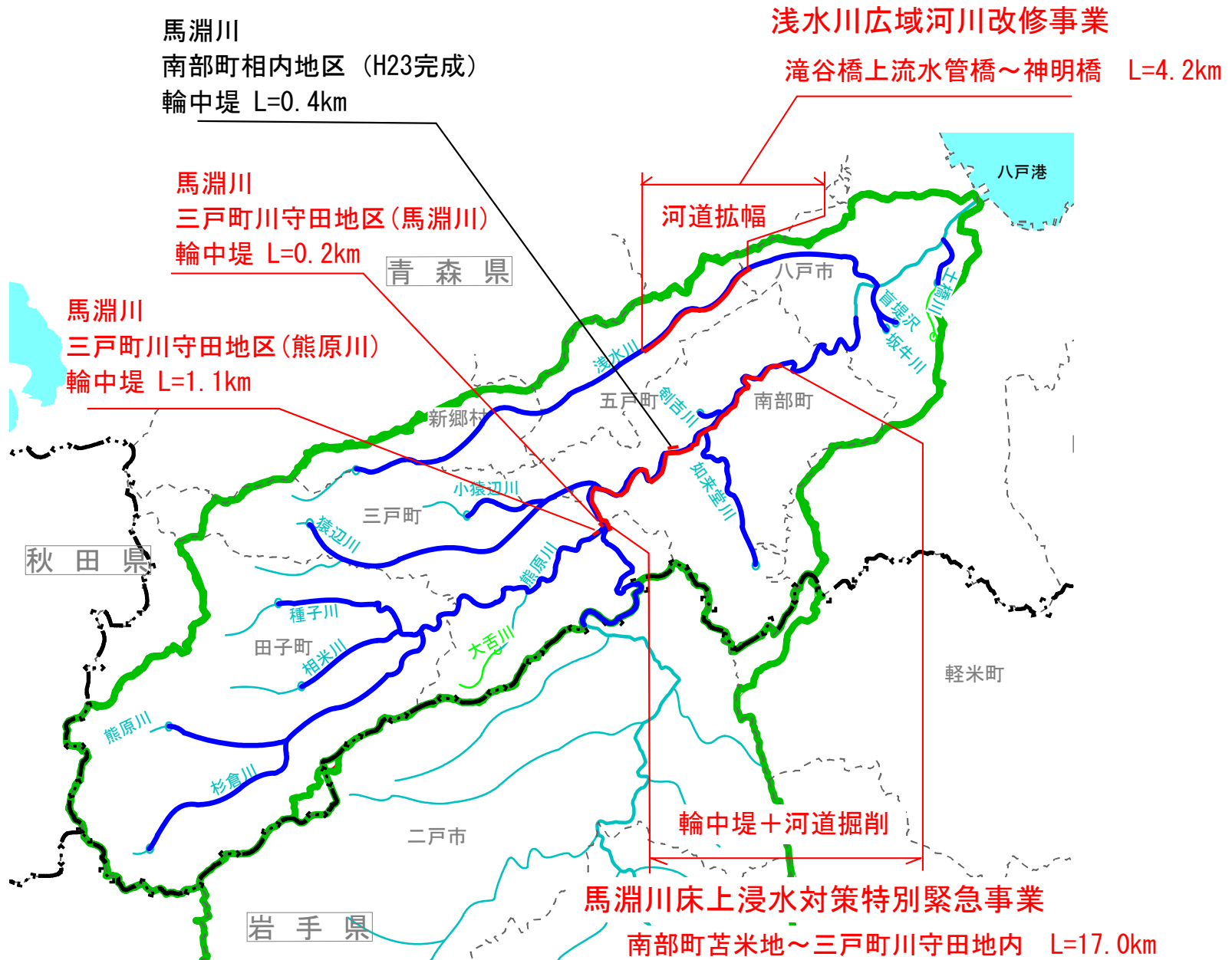
環境

【河川環境の整備と保全】

河川の整備に際しては本来有している自然環境を尊重し、多様な動植物の生息・生育環境の保全に努めます。

また、多様な姿を見せる馬淵川の流れと調和した河川景観の保全を図り、河川の持つ優れた景観資源としての価値を活かすよう努めます。

馬淵川水系河川改修事業位置図（青森県管理区間）

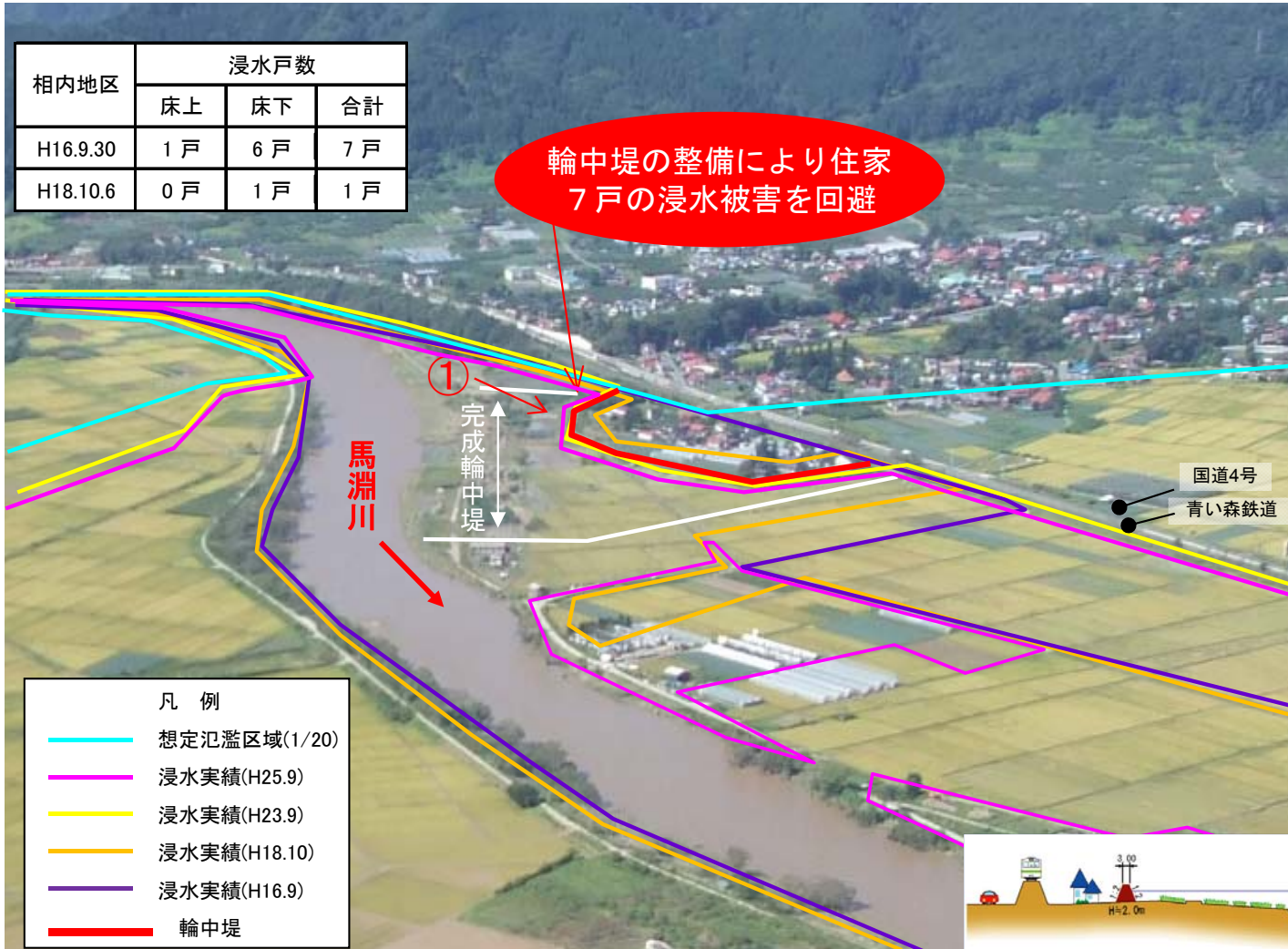


河川整備計画における治水対策（H20～H22）

【輪中堤（南部町相内地区）】

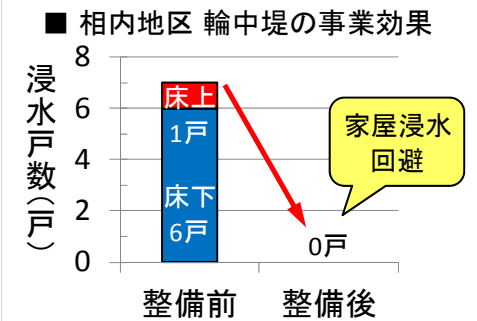
南部町相内地区では、平成16年9月洪水、平成18年10月洪水で度重なる浸水被害が発生していたことから、平成20年度から輪中堤の整備に着手し、平成22年度に概成しました。

平成23年度の台風15号及び平成25年度の台風18号では、輪中堤により浸水被害を回避することができました。



南部町相内地区

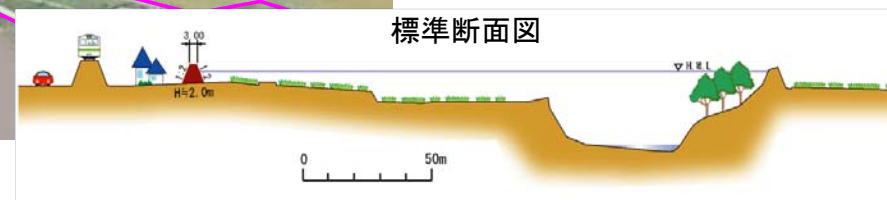
浸水状況（H25.9.17撮影）



■ 堤防整備箇所状況



標準断面図

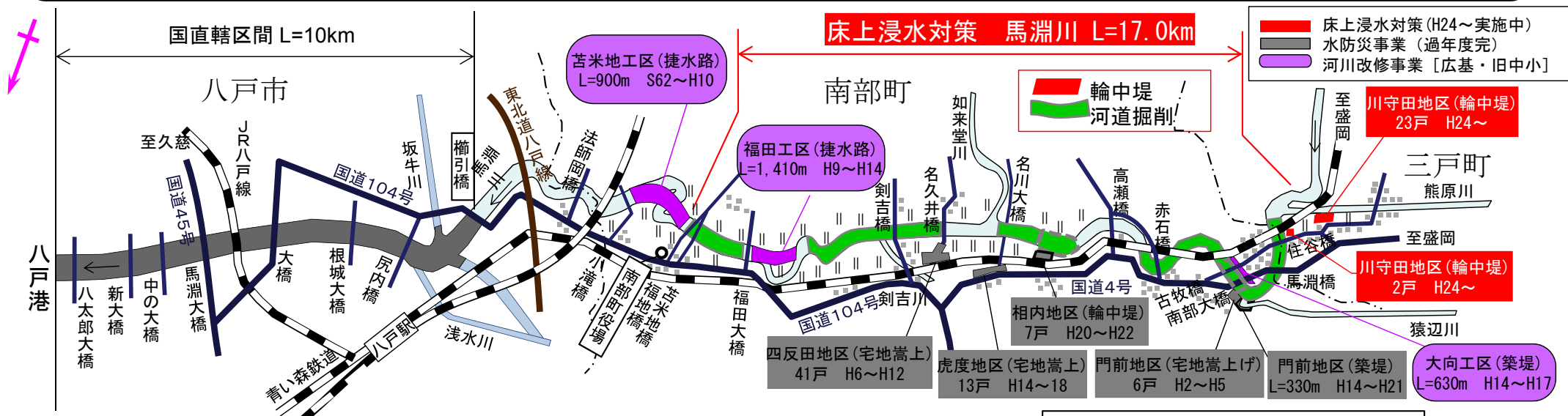


河川整備計画における治水対策（馬淵川床上浸水対策特別緊急事業）

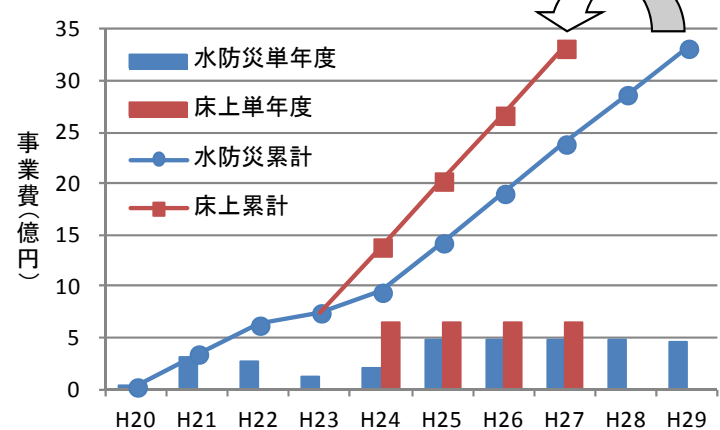
【馬淵川床上浸水対策特別緊急事業(H24～)】

平成20年度より、「土地利用一体型水防災事業」により輪中堤の整備及び河道掘削を推進してきましたが、平成23年9月の台風15号により甚大な被害を受けたことから、平成24年度から「床上浸水対策特別緊急事業」に格上げし、早期に事業の完成を図ることとしています。(完成年度 H29→H27)

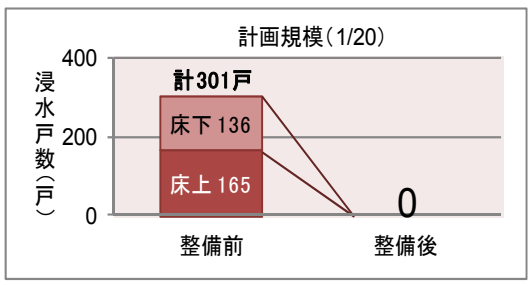
平成25年度の実施状況としては、河道掘削を引き続き実施し、三戸町川守田地区において輪中堤に着手する予定です。また、先般の台風18号を受け、事業の促進を図るための「災害対策等緊急事業推進費」を要望しているとともに、今後、今回の洪水に関する検証を行うこととしています。



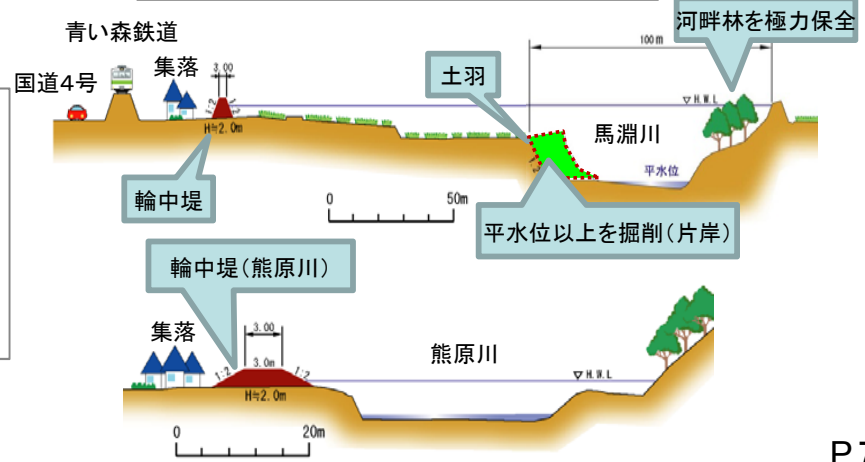
集中投資により水防災事業より2年短縮



事業効果



輪中堤と河道掘削(イメージ)



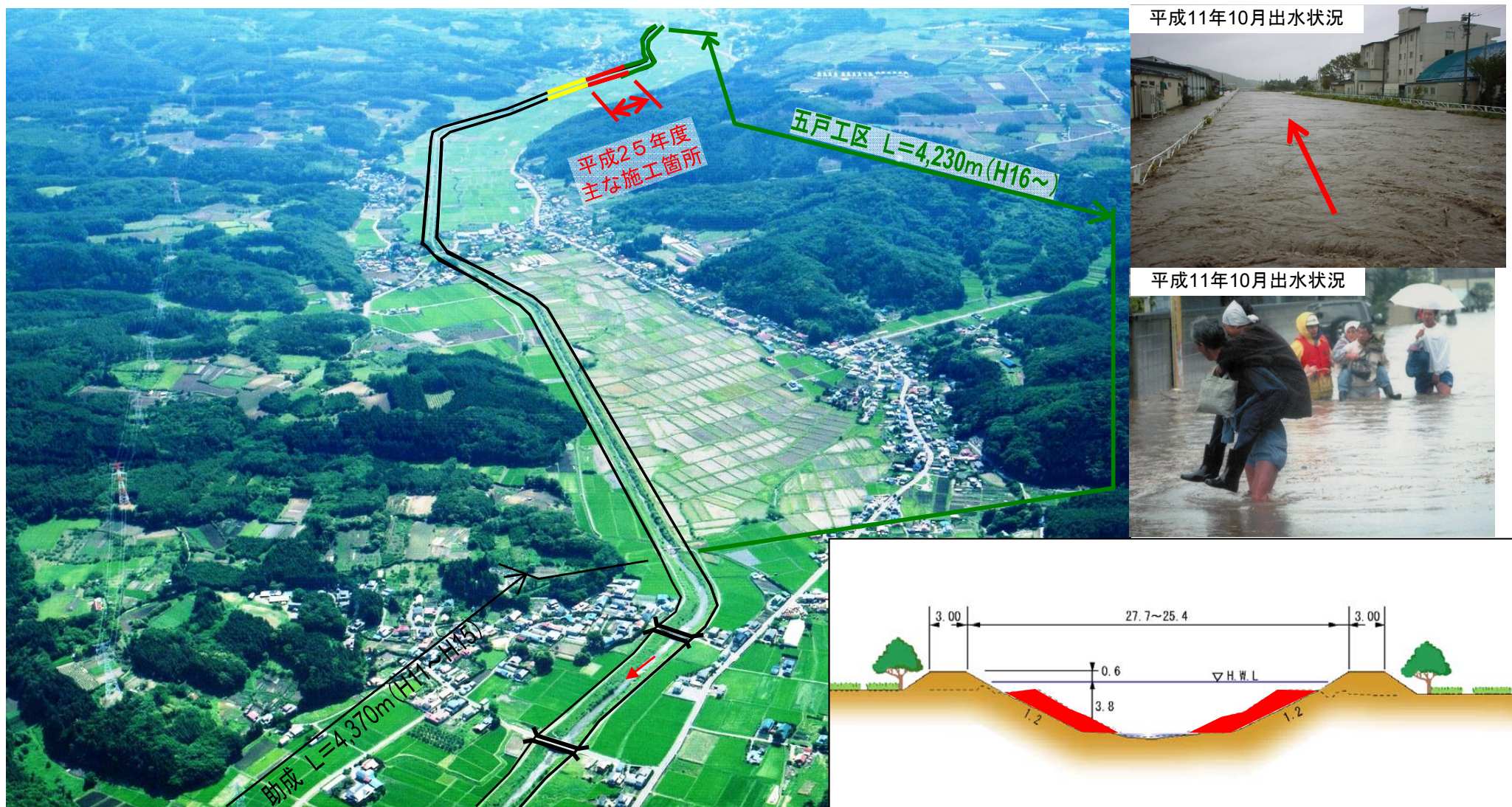
河川整備計画における治水対策（浅水川広域河川改修事業）

【浅水川広域河川改修事業(H16～)】

浅水川は、平成11年10月の洪水を契機に重点的な河川改修を実施し、馬淵川合流点から約7.2km地点まで平成15年度に完了しました。翌平成16年度からその上流約4.2kmに着手しているところです。

平成25年度の実施状況としては、五戸町大字扇田地内において、河道拡幅を実施しています。

また、浅水川の河川事業については、平成28年度の事業完了を目標としています。



ふるさとの水辺サポーター制度

○河川や海岸の一定区間について、住民や企業といった団体の自発的なボランティアを募集し、これらの団体に河川・海岸の「サポーター」となっていただく制度。

○馬淵川水系では、5団体が認定され、清掃・除草等の美化活動を行っています。

